



五霞東小学校

元気いっぱい！ ごかっ子情報



町内の小・中学校で行われた取組みや行事などを紹介します。
今回は、五霞東小学校を紹介します。

「非行防止教室」

六年生を対象に「非行防止教室」を開催しました。

茨城県警察本部生活安全全部少年課少年サポートセンターつくばから講師の先生をお招きし、薬物乱用やSNSの危険性などについてのお話を聞きました。



薬物乱用については、その恐ろしさ、薬物乱用から身を守るための方法など、薬物乱用防止に関する正しい知識について教えていただきました。

・違法ドラッグが麻薬や覚せい剤等の乱用の入り口になってしまうこと。

・犯罪に悪用されてしまう危険性があること。

・「違法ドラッグ」は、アロマ、お香、芳香剤、研究用試薬、ビデオクリナーなどの名称で本当の使用目的を隠し、呼び名や形状を変えて販売されていること。

・薬物を勧めてくる人は、一見優しい態度で、「やせられる」、「集中力がつく」など、間違った情報で親しげに近づいてくること。

・薬物から自分の身を守るためには「薬物に対しての正しい知識」と「きっぱり断る勇氣」が大切であること。

また、薬物という違法ドラッグのイメージが強いですが、意外と身近なところにもあります。「やめたい」と思っても自分をコントロールできなくなる面を持っているタバコやアルコールなどもその一つです。

SNSについては、非常に便利なツールでも、間違った

使い方をするとても危険であることを教えていただきました。

画面のやりとりだけで実際に相手の顔が見えないSNSは、間違った情報にだまされたり、危険への警戒心が薄くなり、トラブルに巻き込まれたりする面があります。

インターネットをかしく使うためのルールは、
・個人情報、お家の人の許可がないかぎり、ゼツタイに教えない。
・あやしいサイトやメールは開かない。

・メールや掲示板に他人の悪口を書き込まない。

・トラブルが起きたときは、すぐにお家の人や大人の人に相談する。

です。この他にも、自分の年齢や生活習慣に見合ったルールをお家の人と一緒に考えることの大切さも教えていただきました。

教室に参加した六年生の感想は次のとおりです。

○スマホを使うときには、周りの人や家族に迷惑を

けないようにしたい。

○薬物やタバコ、お酒などに誘われたら、きっぱり断ることが大事だと思った。

○ネット上のトラブルが多く、メッセージでトラブルになることも多いと感じた。

○タバコやお酒もとても怖いと思った。

他にも多数の感想がありました。が、いずれも薬物やSNSの怖さについて書かれていました。



一人一人の子どもたちが正しい知識をもち、SNSなどのツールを賢く上手に活用したり、身の危険を自ら避けたりできるようになってほしいと考えています。